

27) CST委員会（下線は代表委員、兼 日本外科学会 CST 推進委員会委員）

委員長：三川 信之

委員：秋田 新介、井上 義一、今井 啓道、今西 宣晶、葛城 遼平、
清水 史明、津下 到、寺師 浩人、中川 雅裕、沼尻 敏明、
松本 洋、三鍋 俊春、元村 尚嗣

活動の概要：

1. 2024 年に日形会に申請のあった CST

東京医大 2 件、札幌医大 1 件、大阪公立大 1 件の計 4 件
全て承認

2. 第 33 回日形会基礎学術集会(2024 年 10 月 18 日)における委員会企画シンポジウム「ガイドライン発行後の形成外科領域 CST の全レビューと形成外科が進むべき CST の方向性」について

座長：三鍋俊春 先生（日産厚生会玉川病院形成外科）
三川信之（千葉大学大学院医学研究院形成外科学）

1. 慶應大学での CST と形成外科領域における問題点：

今西宣晶 先生（慶應義塾大学医学部形成外科）

2. ここまで来た日本の形成外科領域の CST

①ガイドライン発行後の形成外科領域 CST の全レビュー：

津下 到 先生（京都大学大学院医学研究科形成外科学）

②CST 報告書の書き方について：

秋田新介 先生（千葉大学医学部形成外科）

③形成外科が進むべき CST の方向性：

今井啓道先生（東北大学医学系研究科形成外科学）

3. 忘れてはいけない倫理的側面 ―CST 参加者心得―（ビデオ講演）：

鈴木崇根 先生（千葉大学大学院医学研究院環境生命医学）

- ・本内容を日形会ビデオライブラリーに掲載

- ・本内容の一部を論文化

津下 到、三川信之、ほか：形成外科 Cadaver Surgical Training の現状：公募型開催と学会助成金の必要性（日形会誌：2025. in press）

3. CST 推進委員会・CST 事業の法人設立準備委員会

(1) 令和 6 年度第 2 回 CST 推進委員会・CST 事業の法人設立準備委員会（合同開催）

日時：令和 6 年 12 月 11 日（水）17:00～18:30

A) 本年度の CST 報告（報告・審議）（CST 推進委員会）

形成外科領域の CST 報告書を代表委員 4 人でレビューし、結果を報告

申請総数：29 件

承認：26 件（89.7%）

条件付き承認：3 件（10.3%）

（昨年：非承認 6/18 件（33.3%））

B) CST 事業の新法人設立の件

C) その他

(2) 令和6年度第3回 CST 推進委員会・第3回 CST 事業の法人設立準備委員会

日時：令和7年1月14日（火）17時00分～18時50分

A) 本年度の CST 報告の件（各領域のレビュー結果報告）

B) 美容外科医による不適切行為の件

- ・日形会 CST 委員長 三川信之より日形会の見解について報告を行った。
- ・各学会や組織（厚労省、文科省、篤志解剖全国連合会、日本解剖学会、日本外科学会など）からは日形会にはプロフェッショナルオートノミーに基づいた行動が要請

C) CST 事業の新法人設立について

(3) 令和7年度第1回 CST 推進委員会・第4回 CST 事業の法人設立準備委員会

日時：令和7年未定

A) 各大学への CST レビュー結果の通知および追加照会の件

B) 美容外科医による不適切行為に対する声明の件

日形会特別調査委員会での調査結果と措置、再発予防対策を報告予定

C) CST 事業の新法人設立の件

4. 日本解剖学会 寺田理事長より日形会へ要望あり（2025年1月30日付）

日本形成外科学会理事 三川 信之 先生：

昨年末の美容外科医によるご遺体不適切取扱い事案につき、お願いがあり波多野委員長を介してご連絡させていただきます。日本美容外科学会による再発防止のための具体的な対応はまだ明らかではありませんが、貴学会では事実確認を元にした対応と再発防止策の策定を企図して調査中と伺っております。解剖学会としましては、本件に関し献体関係者のご納得が得られませんか、CSTだけでなく解剖学教育・研究にも大きな悪影響が及ぶ可能性があることを危惧しております。どうか献体関係者にご理解をいただけるような形での対応策の策定をお願い申し上げます。

日本解剖学会理事長 寺田 純雄

5. CST での不祥事に対する予防策について（委員会で検討中）

(1) 倫理面のビデオ作成し、参加者の閲覧を義務化または強く推奨

1. CST における倫理面の重要性を説くビデオを作成する（必要に応じて解剖学の先生に依頼）。
2. 国内・海外で開催される CST に参加する日形会員（実施施設者も含む）はそのビデオ講習閲覧を必須（義務）とする、あるいは強く推奨する。
3. CST 参加申込時にビデオ講習修了書を提出（呈示）してもらう。
4. 講習修了書の有効期間は*5年間とする。

* 4. の有効期間に関しては、原案「5年間」で良い（3名）、「都度閲覧受講必要」とする（2名）、「一度受講で可」（1名）との意見あり。

(2) その他の予防策

- ・講師を他科や海外から呼ぶ場合、実施責任者が講師陣を管理する。
- ・開催前の報告書と開催後実施報告書（簡単なもの）を学会に提出してもらう。
→日形会が CST 開催状況を把握する手段となる。
- ・日形会員や JSAPS 会員のみならず、国内外問わず CST に参加する形成外科医・美容外科医が閲覧できる倫理的動画を日形会ホームページに掲載。

2 7-i) 顔面移植 WG

委員長：橋川 和信

委員：石田 勝大、井上 義一、櫻庭 実、清水 史明、根本 仁
林 礼人、原岡 剛一、元村 尚嗣

活動の概要：

- ・前年度から引き続き、同種顔面移植指針の執筆・編集作業を行っている
- ・第 68 回形成外科学会総会の委員会企画シンポジウムで報告予定